

【表紙】

【発行登録番号】	30 - 関東 1
【提出書類】	発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年10月 9 日
【会社名】	ニッコンホールディングス株式会社
【英訳名】	NIKKON Holdings Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒岩 正勝
【本店の所在の場所】	東京都中央区明石町 6 番17号
【電話番号】	03(3541)5330 (代)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員経理部長 忝田 泰典
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区明石町 6 番17号
【電話番号】	03(3541)5330 (代)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員経理部長 忝田 泰典
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行予定期間】	この発行登録書による発行登録の効力発生予定日(平成30年10月17日)から2年を経過する日(平成32年10月16日)まで
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 20,000百万円
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

以下に記載するもの以外については、有価証券を募集により取得させるに当たり、その都度「訂正発行登録書」又は「発行登録追補書類」に記載します。

1【新規発行社債】

未定

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

未定

3【新規発行による手取金の使途】

(1)【新規発行による手取金の額】

未定

(2)【手取金の使途】

社債償還資金、設備資金及び投資融資資金に充当する予定であります。

第2【売出要項】

該当事項はありません。

第3【その他の記載事項】

該当事項はありません。

第二部【参照情報】

第1【参照書類】

会社の概況及び事業の概況等金融商品取引法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類を参照すること。

1【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第77期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日） 平成30年6月29日関東財務局長に提出

事業年度 第78期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日） 平成31年7月1日までに関東財務局長に提出予定

事業年度 第79期（自 平成31年4月1日 至 平成32年3月31日） 平成32年6月30日までに関東財務局長に提出予定

2【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第78期第1四半期（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日） 平成30年8月10日関東財務局長に提出

事業年度 第78期第2四半期（自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日） 平成30年11月14日までに関東財務局長に提出予定

事業年度 第78期第3四半期（自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日） 平成31年2月14日までに関東財務局長に提出予定

事業年度 第79期第1四半期（自 平成31年4月1日 至 平成31年6月30日） 平成31年8月14日までに関東財務局長に提出予定

事業年度 第79期第2四半期（自 平成31年7月1日 至 平成31年9月30日） 平成31年11月14日までに関東財務局長に提出予定

事業年度 第79期第3四半期（自 平成31年10月1日 至 平成31年12月31日） 平成32年2月14日までに関東財務局長に提出予定

事業年度 第80期第1四半期（自 平成32年4月1日 至 平成32年6月30日） 平成32年8月14日までに関東財務局長に提出予定

3【臨時報告書】

1の有価証券報告書提出後、本発行登録書提出日（平成30年10月9日）までに、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書を平成30年7月5日に関東財務局長に提出

4【訂正報告書】

訂正報告書（上記 の の訂正報告書）を平成 年 月 日に 財務（支）局長に提出

第2【参照書類の補完情報】

以下の内容は、上記に掲げた参照書類としての有価証券報告書及び四半期報告書（以下「有価証券報告書等」という。）に記載された「事業等のリスク」について、有価証券報告書等の提出日以後本発行登録書提出日（平成30年10月9日）までの間において生じた変更その他の事由を反映して一括して記載したものであります。変更箇所は下線で示しております。

また、有価証券報告書等に記載された将来に関する事項については、以下の記載に含まれる事項を除き、本発行登録書提出日現在においてもその判断に変更はなく、以下の記載に含まれる事項については、本発行登録書提出日現在において判断したものです。なお、当該将来に関する事項については、その作成時点での予想や一定の前提に基づいており、その達成及び将来の業績を保証するものではありません。

「事業等のリスク」

当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。

(1)燃料費の変動について

当社グループにおいて使用する輸送用車両の燃料費は、原油価格や為替相場の変動により影響を受けております。当社グループはこれらのコスト増が生じた場合、顧客企業との協議により適正な料金の収受を図ってまいりますが、急激な燃料価格の上昇や適正な料金の収受ができないような場合は、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(2)法的規制等について

当社グループの営む事業について、運送事業の一部(貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業)につきましては、「自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)」や「生活環境確保条例」等の規制を受けております。

これらの法規制等への対応については、車両の代替及び排出ガス低減装置の取付けを効果的、効率的に行うことによりコストへの影響を最小限にとどめております。しかしながら、今後規制の内容の変更等が生じた場合、更なるコストの発生が考えられます。

(3)重大事故の発生可能性について

当社グループにおきましては、順法精神に則り社会的責任を最優先に営業活動を行っておりますが、万一重大な交通事故等が発生してしまった場合には、社会及び顧客の信用が低下するとともに、事業所の営業停止、事業許可の取り消し等の行政処分を受ける可能性があります。

(4)自然災害等について

当社グループが事業を展開する地域において、地震や風水害等により輸送経路が遮断された場合や事業所設備が毀損した場合、停電の発生によりシステム停止等の事態が生じた場合、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

第3【参照書類を縦覧に供している場所】

ニッコンホールディングス株式会社本店

(東京都中央区明石町6番17号)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第三部【保証会社等の情報】

該当事項はありません。